

学校部活動の地域移行に伴う人員や財源の確保を求める決議

令和8年度中には学校部活動の地域移行がされることとなっている。

生徒たちにとっては活動の選択肢の拡大、専門的な指導を受ける機会の増加、多様な学びの機会の確保、教員にとっては業務負担の軽減、地域にとっては文化・スポーツの活性化など、多くのメリットが考えられることは理解できる。

部活動の持つ教育的意義は非常に重要であり、その意義を失わないよう、また円滑に移行をしていかなければならない。

しかし、現状では、種目ごとの活動団体、指導者、移動手段など、それぞれの確保ができている状況にあるとは思われず、児童・生徒や保護者、文化・スポーツ関係団体の間では今もなお不安も大きいようである。

令和6年度決算において、令和3年度から4年間かけて行った中学校での実証研究の結果を検証し、子供たちの部活動も充実したと聞くとの説明もあったが、この良い成果を前向きに進めていかなければならない。

地域移行の実施までには時間もあとわずかとなっている。

生徒たちの心身の健全な育成や豊かな人間関係の構築、個性や能力の伸長などを進めていくため、また活動が持続可能なものとなるよう、周南市行政の全体の問題として捉え、人員や財源など積極的な対応を求める。

以上、決議する。

令和7年11月10日

山口県周南市議会